

## 環境振動設計ガイド策定小委員会 第1回議事録（案）

- A. 日 時 2015年11月9日 月曜日 17:30～19:40
- B. 場 所 建築学会 304会議室
- C. 出席者 濱本主査、他7名
- D. 提出資料（提出委員名）
  - No.1-01 環境振動シンポジウム（第31, 32, 33回）
  - No.1-02 評価指針の内容

### E. 議事内容

#### 0. 自己紹介

公募新委員（3名）および現委員の自己紹介を行った。

#### 1. 小委員会の活動紹介（資料 No.1-1）

資料 No.1-1 をもとに小委員会の活動が紹介された。

- ・「評価」の受け皿としての環境振動設計のための居住性能マトリクスの構築
  - 第31回：建物を取り巻く振動環境の把握
  - 第32回：居住性能設計指針の枠組み
  - 第33回：居住性能評価と設計のつながり

#### 2. 評価指針の内容の紹介（資料 No.1-2）

資料 No.1-2 をもとに新評価指針の概要が紹介された。

- ・指針の内容は、「定常的な振動」と「非定常な振動」に分けて記載
- ・非定常な振動に対しては継続時間による低減量を付加する評価方法を取り入れる

#### 3. 設計指針作成への要望

- ・耐震、耐風の設計体系となるべく合わせる
- ・評価方法について鉛直・水平もなるべく同じ方法となる方がよい
- ・建築物そのものの性能評価（性能表示制度対応）と絶対評価について議論を進める
- ・2004年版の施主との合意形成の考え方が浸透していない（施主主体による性能規定）

#### 4. WGについて

具体的な作業は小委員会の傘下にWGを作って行う。

WGメンバーは公募で入って頂いた3人の方プラス以前設計ハンドブック作成の際に参加して頂いた方々にも入って頂く。後者に関してはこれから打診する予定。

#### 5. その他

幹事を2名体制とし、新幹事を1名選出した。

#### 6. 次回以降について

ある程度WGの作業が進んだ段階での開催とし、来年春くらいに開催予定。

以上